

瀬戸内海環境保全に関する今後の課題

瀬戸内海環境保全知事市長会議事務局
兵庫県水質課長英保次郎

1. CODに係る汚濁負荷量と環境基準の達成
 - (1) CODの環境基準達成率：C海域 100%、B海域 77%、A海域 31%
 - (2) 窒素(N)、りん(P)による有機物再生産、外洋からのNP流入

水域ごとのメカニズム解明

2. 自然環境保全と沿岸管理
 - (1) 自然環境が良好に残された地域・・・堅持
 - (2) 開発された地域
 - 土地利用が低調・・・・・・・・・・環境回復・創造
 - 利用が活発・・・・・・・・・・高度利用しつつ新たな開発
3. やむを得ない埋立ての代償措置
自然環境の喪失 現存以上の代償措置
4. 生態系の保全
生態系メカニズムの解明、多様性の回復
5. 普及啓発と環境学習
 - (1) シンポジウムの開催
 - (2) 瀬戸法30周年の環境保全活動CDR作成